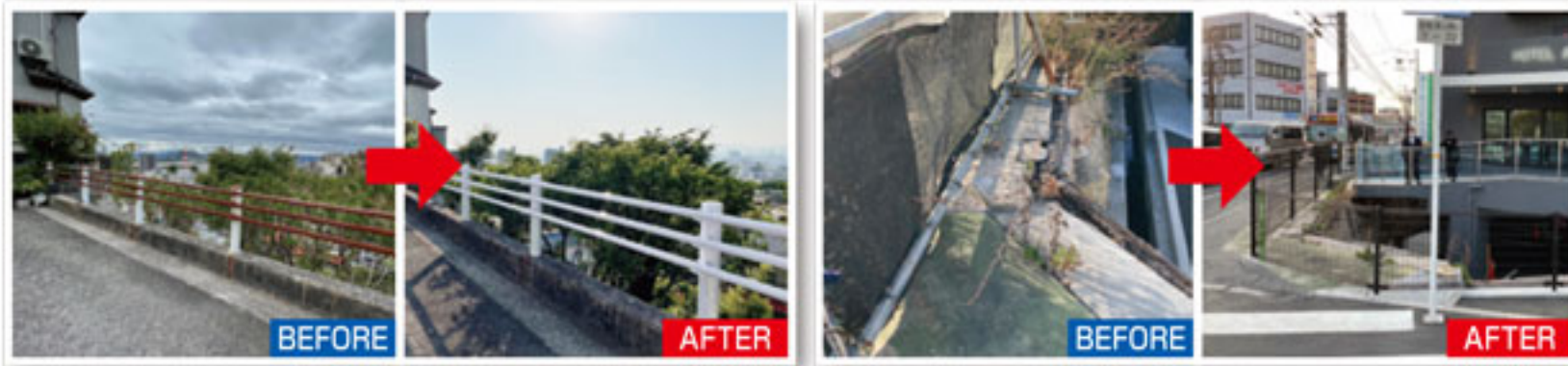


安心・安全・快適な暮らしを目指して

転落防止柵補修



中野東駅前歩道整備



道路・里道補修



排水溝整備



川口しげひろ 活動の様子

広島市子ども図書館視察

2022.01.25

会派の有志で移転の話が出ている広島市子ども図書館を視察させて頂きました。周辺の中央図書館、映像文化ライブラリーと共にエールエールA館の中への移転が検討されています。



旧市民球場跡地整備事業起工式

2022.04.09

旧市民球場跡地整備事業の起工式に建設委員会副委員長としてお招き頂きました。平和の軸をつなぎ未来の平和や新しい人の流れとにぎわいをつくる公園と一体的に利用できる木造店舗、スケートボードパークが建設される予定です。



予算特別委員会質問
(厚生関係・建設関係)

2022.02.25、03.04

厚生関係では、西風館の火葬炉増設について質問をし、増設のスケジュールや残骨灰、周辺住民との同意状況を確認させて頂きました。また、建設関係では、ひろしま西風新都の開発について質問をし、今後の計画や進捗状況、企業誘致について質問させて頂きました。



図書館視察

2022.05.24～05.25

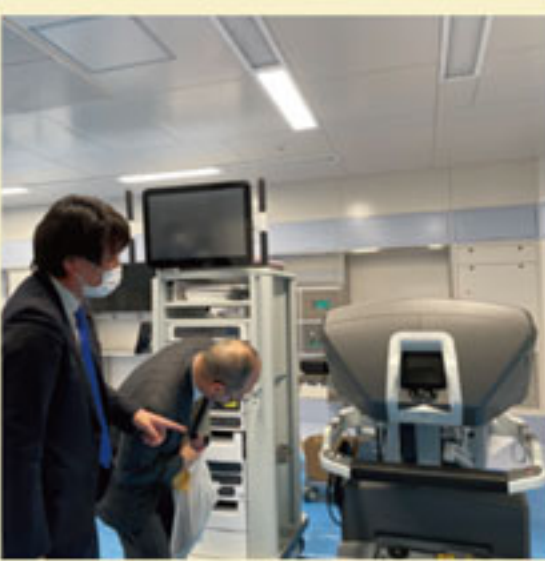
現在議論されている図書館の建替え・移転問題にあたり、会派で手分けをして各地の図書館の視察に伺いました。私は佐賀県の武雄市図書館と山口県の周南市立駅前図書館の視察に伺い、6月議会では最後に意見も述べさせて頂きました。



新安佐市民病院視察

2022.03.18

広島市北部の医療拠点となる新安佐市民病院をオープン前に、インターンシップの学生さんと共に最新鋭の医療機器やICUや手術室、ドクターヘリのヘリポートなどを視察させて頂きました。



広島市長・議長へ表敬訪問

2022.06.29

全国大会出場が決定した安芸区の少年野球チームが市長・議長へ表敬訪問されました。全国大会優勝チームは、アメリカでの世界大会へ出場できます。活躍を期待しています。



所属委員会等：建設委員会（委員長）・議会改革推進会議・安心社会づくり対策特別委員会

市政に関するお問い合わせやご要望は
お気軽に **川口しげひろ事務所** まで
〒736-0083 広島市安芸区矢野東5丁目1-15 クスノキビル2F
TEL(082)824-7233 FAX(082)824-7232



facebook.com/shigehiro.kawaguchi

https://mobile.twitter.com/shige_kawaguchi

instagram.com/kawaguchi_shigehiro

https://www.kawaguchi-shigehiro.jp/

E-mail:office@kawaguchi.cfns.jp

川口しげひろ 検索

輝く安芸区の未来のために

広島市議会議員 安芸区

川口しげひろ 市政レポート

《自由民主党・市民クラブ》 〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 TEL:082-504-2734 FAX:082-244-5210
この川口しげひろ市政レポートは、自由民主党・市民クラブの承認を得て発行しています。

2022 夏号
vol.6

ごあいさつ

いくぶん残暑も和らぎ、しのぎ良い日が少しずつ増えて参りました。夏のお疲れなど出ずに皆様お元気にお過ごしでしょうか。

平素より、広島市議会議員 **川口しげひろ** に対しまして格別のご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

さて、地域行事や各種イベントが少しずつ再開され始め、喜んでいたところですが、コロナ感染者数も過去最高を更新するなど先行きが不透明な状況です。

6月7日から開会された市議会定例会では、G7広島サミットの開催支援、物価高騰に伴う給食食材購入費の追加措置など新たな予算が可決・成立しました。

また、この度の6月議会では、会派を代表し一般質問をさせて頂きました。内容をレポートにまとめさせて頂きましたのでご一読くだされば幸いです。新たな常任委員会の配属も決定し、**建設委員会の委員長を拝命**いたしました。

引き続き、皆様のご期待に添えるよう全力で取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

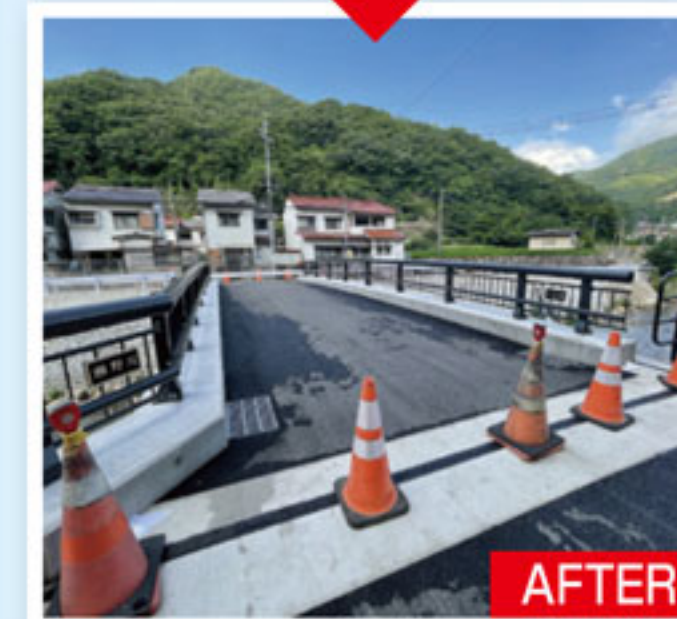
災害復興

安芸区内追悼献花



災害が起こって丸4年にあたる7月6日には、安芸区内を松井市長と共に6箇所、追悼献花をさせて頂きました。

河島橋の復旧



21年の予算特別委員会にて、瀬野川に架かる橋りょうについて質問を行った河島橋がこの度復旧しました。

防護シート張替え

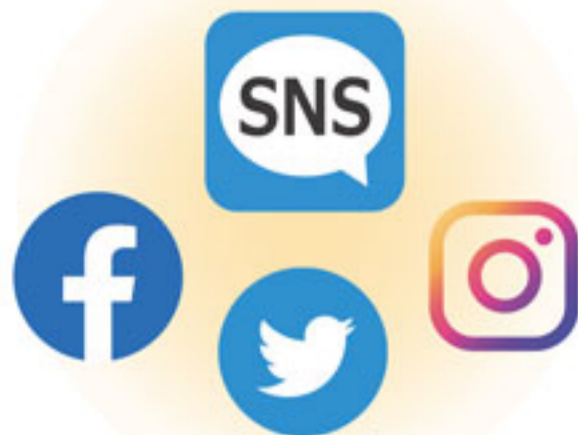


一度、ブルーシートを張り替え(No.1)を行いました。経年劣化により前と同じような状況に。今まで以上に耐久性の高いシートに張り替えを行いました。

平成30年7月豪雨災害からの復旧と安芸区のまちづくりについて

絵下山について、広島市の観光資源としてより多くの方々に訪れていただけるよう積極的に魅力の発信に取り組んでもらいたいと思うがどうか。

絵下山は、広島市中心部や瀬戸内海の島々を一望することができ、また、様々なルートで登山を楽しむこともできる地域の観光資源として親しまれています。また、絵下山では、のろしりレーなど地域の皆様が主体となり本市も応援するといった官民が一体となった取組みが展開されています。この絵下山は、本市にとっても大変貴重な観光資源であることから、市内外から多くの方に訪れていただけることを期待しており、その魅力を広く発信することは重要だと考えています。このため、本市ホームページやひろしま公式観光サイト「Dive(ダイブ)!Hiroshima(ヒロシマ)」のほか、インスタグラム、フェイスブックといったSNSなど様々な媒体を活用し、積極的な情報発信に努めていきたいと考えています。



矢野中央線の今年度の事業予定と今後の見込みはどうか。

矢野中央線の海田町境から南側の未整備区間については、令和8年度の完成を確実にものとするため、本年度は現時点で約7割となっている用地取得の促進を図り、令和7年度中の工事着手を目指して取り組んでまいります。



安芸1区上瀬野線の整備状況はどうか。東広島・安芸バイパスの完成時期はどうか。

安芸1区上瀬野線は、国道2号から、東広島・安芸バイパスの仮称上瀬野インターチェンジに接続する延長約310メートルの道路です。このうち、国道2号から約200メートル区間は、概ね整備が完了しています。残る約110メートル区間にある橋りょうの下部工は、昨年12月に完了しており、現在、橋桁架設などの上部工を行っているところです。これらの工事は、今年度のバイパス開通に合わせて供用開始するよう、取り組んでいるところです。



絵下山入口から山頂までの道路は、道幅が4mない所が数箇所あるが、そこを拡幅整備して頂きたいと考えているがどうか。

絵下山入口から山頂までの、大部分は4メートル以上の幅員を有しており、マイクロバスの通行は可能ですが、よりスムーズな通行が行えるようにするため、4メートルを下回る箇所の拡幅を検討しているところです。



令和4年 第5回 定例会 (6月7日~6月17日)

質問内容

- 平成30年7月豪雨災害からの復旧と安芸区のまちづくりについて
 - 矢野中央線について
 - 安芸1区上瀬野線について
 - 絵下山の整備について
 - 復興まちづくりプランについて
- 21世紀を担う子供たちが夢と希望を持てる環境づくりについて
 - 新中央市場建設について
 - 東部市場の跡地利用について
- 望まない受動喫煙について
- 水の都ひろしまにおける水循環と流域連携について

復興まちづくりプランについて

30年7・6災害での矢野天神地区や上瀬野地区の復興まちづくりプランは今後、どのように作成していくのか。また支援の内容、進捗状況はどうか。

矢野天神地区と上瀬野地区においても、これまでの復興まちづくりプラン作成支援のノウハウを活かし、勉強会やワークショップなどにコンサルタントを派遣するとともに本市の職員も参画して、運営をサポートして参ります。両地区とも、これまで1年半の間、新型コロナウイルス感染症のため地域の活動を中断されていましたが、この度改めて地域から支援の要請があったことから、現在は、早期に勉強会の開催ができるよう、地域と準備を進めているところです。



作成された復興まちづくりプランを広島市はどう受け止めているのか、プランに掲げられた広島市にお願いする施設整備の取組みはどうか。

復興まちづくりプランは、地域の総意として取りまとめられたものと認識しています。地域の皆様が持つ、どのようなまちにしたいのか、どのようにまちづくりを進めていきたいのかという思いをしっかりと受け止め、プランに掲げられた市の取組は、実施に向けた課題を整理した上で、地権者等との合意が得られた箇所から事業を進めていきます。



望まない受動喫煙について

喫煙制限区域の検討に当たっては、喫煙者に対する配慮も同時に必要であると考えるがどうか。

本市における喫煙対策は、望まない受動喫煙とともに、ポイ捨て等の防止を図ることを目指しているところです。したがって、「広島市受動喫煙防止対策ガイドライン」や「広島市ポイ捨て等の防止に関する条例」の見直しに当たっては、喫煙制限区域の指定の取扱いに限らず、受動喫煙を防止するために環境の整備に取り組もうとする民間事業者等に対する支援策なども含め、検討していきたいと考えています。



21世紀を担う子どもたちが夢と希望を持てる環境づくりについて

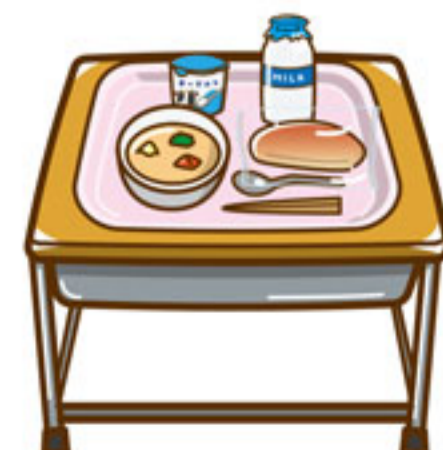
新中央市場建設について、議会に新市場建設にかかる予算案を示す時期や募集要項を作成し事業者の公募選定、着工、完成等はいつ頃を考えているか。具体的な建設スケジュールと整備スケジュールを含めた今後の計画はどうか。

新たな中央市場が、中四国の拠点となるために、市場施設づくりについて様々なアイデアやノウハウを有する民間事業者3者も含めて対話を行いながら、検討を進めてきました。現在は、新中央市場の建設を行う事業者の募集に向けて、応募者が市場施設の配置、規模や設備概要などの施設計画を作成するに当たり、必要となる条件等の合意形成を図るため、場内関係事業者と丁寧にヒアリングや協議を行っているところです。今後は、12月議会に建設に係る総事業費の予算案を上程し、議決を経た後、年度内に事業者の公募を行いたいと考えております。また、整備スケジュールについては、全棟の整備完了時期を2030年代初頭と見込んでおります。



東部市場の跡地利用について、給食センターの検討状況はどうか。

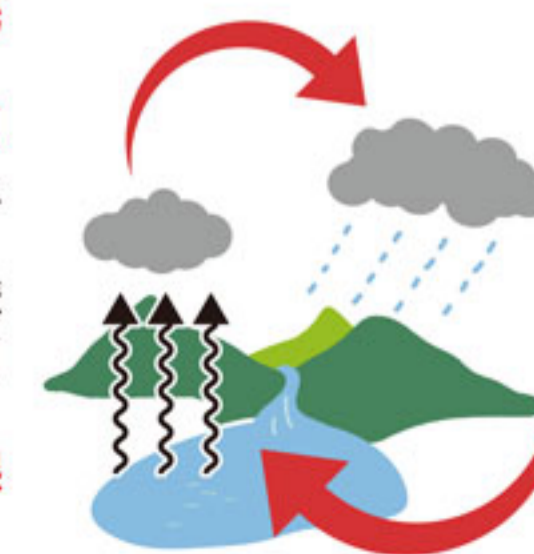
本市は給食センター方式を基本とする提供体制の構築を目指していくこととしており、このうち東部エリアについては、おおむね10年後を目途に高度な衛生設備等を備えた新たな給食センターを整備することとしています。この東部エリア内における給食センターの建設場所として、立地や面積などの条件を満たす東部市場跡地は有力候補地の一つであると考えており、今後の東部市場の移転に向けたスケジュールなども注視しつつ、給食センターの整備に向けた検討を進めてまいります。



水の都ひろしまにおける水循環と流域連携について

水の都ひろしまにおける水循環と流域連携についてどう考えているのか。

水は、生命の源であり、川から海に流れ蒸発し、再び上流に雨となって降るといった循環の過程において、人を含む多様な生態系に多大な恩恵を与えると同時に、飲料水としての利用はもとより、観光、文化、交通、農林水産業等の様々な社会経済活動を支えています。そうした中、近年、森林の荒廃等により、森林の持つ水源涵養機能や土砂流出防止機能が低下したことが一因となって、土砂災害が頻発しているほか、生活由来のプラスチックごみが河川の流域から瀬戸内海に流出して生態系に悪影響を及ぼすといった問題も顕在化しており、健全な水循環を確保していくことが一層重要となっております。「水の都」と呼ばれる本市において、県西部の中国山地に水源を有し、複数の市町の区域を経て流れる太田川が本市の水循環に大きな役割を担っているところであり、この太田川において、広域的な環境問題に的確に対応していくには、流域自治体が、下流は上流を思い、上流は下流を思うことを常に忘れず、行政区域を超えた広域的な連携協力を図ることが不可欠であると認識しております。こうした基本認識の下、本市では、「健全な水循環の確保」を施策の方針の一つに掲げ、太田川源流流域における森林の整備や生活排水対策、水辺の保全活動など各種取組を進めているところです。また、「200万人広島都市圏構想」の実現に資する取組の一つとして、流域に位置する市町で構成する太田川流域振興交流会議を設置し、健全な水循環の確保に向けた活動に加え、太田川流域の振興や交流活動にも取り組んでいます。今後も、将来にわたり人々が安心して水の恩恵に浴することができるよう、健全な水循環の確保に努めながら、圏域全体が持続的な発展をしていくまちづくりの実現に取り組んでまいります。



※本会議での質問・回答を一部載せさせて頂きました。上記回答は2022年6月14日時点のものです。